

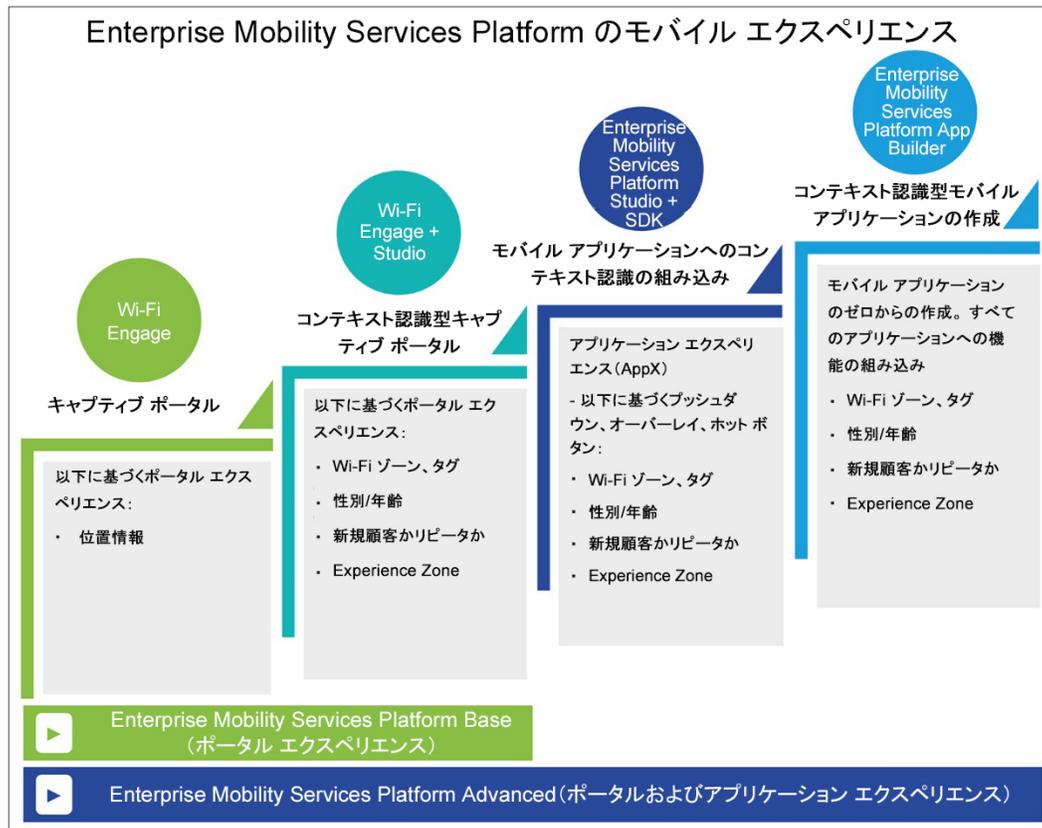
Cisco Enterprise Mobility Services Platform

コンテキスト認識型モバイル エクスペリエンスの開発時間短縮と導入の簡素化

製品概要

Cisco Enterprise Mobility Services Platform は、キャプティブ ポータル、Web ベースおよびネイティブのモバイル アプリケーションなど、複数のチャンネルにまたがるモバイル エクスペリエンスの迅速な作成、導入、および管理を支援します。図 1 は、このプラットフォームでポータルとモバイル アプリケーションにコンテキスト認識機能を追加するしるしを示しています。Cisco Enterprise Mobility Services Platform は、位置情報、ユーザ プロファイルなどのコンテキスト認識データを使用して、モバイル デバイスのユーザにパーソナルなエクスペリエンスを提供します。これにより、カスタマー エクスペリエンスが向上し、ビジネス チャンスが広がります。このプラットフォームを使用すると、差別化サービスを構築して、収益向上につながる新しいビジネス モデルを導入できます。シスコのクラウドベース ソリューションは、モバイル エクスペリエンスの開発時間の短縮と、導入および管理の大幅な簡素化により、デジタル ビジネスの変革を加速する、総合的なソフトウェア プラットフォームです。

図 1. モジュールで提供されるモバイル エクスペリエンス



Cisco Enterprise Mobility Services Platform のツールを使用すると、顧客との結びつきを強めたり、従業員の生産性を高めたりするための効果的なモバイル デバイス エクスペリエンスを構築できます。このソリューションには、次のようなメリットがあります。

- **スマートなモバイル エクスペリエンスを数分で作成:**業種別にカスタマイズされたテンプレートや、ユーザ インターフェイス、コンテンツ、ソーシャル、コマースの各機能に対応した数百の作成済みモジュール、ならびに、ドラッグ アンド ドロップによるデザインが可能なインターフェイスにより迅速な作成が可能です。
- **ロケーション ベースのサービスにより運用効率を向上:**顧客を効率的に取り込みます。
- **インターネット アクセスと認証を簡素化:**カスタム/ソーシャル Wi-Fi を利用できます。
- **既存のモバイル ネットワーク インフラストラクチャとセキュアに統合:**Enterprise Mobility Services Platform のアダプタを使用します (これらのアダプタは、Cisco Meraki クラウド コントローラ、Cisco Connected Mobile Experience (CMX)、およびシスコ ワイヤレス LAN コントローラとのインターフェイスを提供します)。
- **モバイル エクスペリエンスを簡単に統合:**使用中のモバイル アプリケーションと統合して投資を保護します。

迅速かつ包括的なモバイル エクスペリエンスの導入

Enterprise Mobility Services Platform を使用すると、モバイル エクスペリエンスをすばやく作成および配信できるだけでなく、モバイルのアプリケーション、データ、およびワークフローを、バックエンドの IT インフラストラクチャやネットワーク インフラストラクチャと簡単に統合できます。これにより、既存の投資を最大限に活用し、企業全体のデータを関連付けることで、有意義な分析やアクションが可能になります。

Cisco EMSP の主な機能と利点を表 1 に示します。

表 1. 主な機能と利点

ビジネス要件	サポート機能	利点
Wi-Fi Engage を使用した顧客/ゲストによる Wi-Fi アクセスの強化	<ul style="list-style-type: none"> • ショート メッセージ サービス (SMS) や、Google+, Facebook, LinkedIn、および Twitter からのソーシャル ログインなど、認証オプションの拡張 	<ul style="list-style-type: none"> • 簡単なゲスト ログイン
	<ul style="list-style-type: none"> • リピータの認識と複数言語のサポート 	<ul style="list-style-type: none"> • 顧客との関係を強化するパーソナルなエクスペリエンスを拡充
	<ul style="list-style-type: none"> • ソーシャル ログインによって提供される、性別および年齢情報に基づく統計レポートを新たに提供 	<ul style="list-style-type: none"> • エクスペリエンスをパーソナライズするために顧客を詳細に把握
	<ul style="list-style-type: none"> • ビーコンベースでエクスペリエンスをサポート 	<ul style="list-style-type: none"> • 位置情報に基づくハイパーコンテキスト コンテンツをユーザに提供
	<ul style="list-style-type: none"> • ワイヤレス インフラストラクチャ統合によるキャプティブ ポータルの設定 	<ul style="list-style-type: none"> • ネットワーク設定を合理化してエクスペリエンスを迅速に提供
	<ul style="list-style-type: none"> • 場所のニーズに基づいてハイパー ローカル コンテンツを実現する Experience Zone 	<ul style="list-style-type: none"> • ゲストエクスペリエンスをそれぞれの場所に合わせて調整
	<ul style="list-style-type: none"> • 業種別のニーズに合わせて事前作成されたアプリケーション テンプレート 	<ul style="list-style-type: none"> • モバイル Web アプリケーション エクスペリエンスをすばやく構築
EMSP Studio を使用して Web ベースのモバイル アプリケーションを簡単に開発	<ul style="list-style-type: none"> • 強化されたモジュール フレームワーク: タッチ/非タッチ フォンの両方に対応した、そのまま使える 50 個以上のモジュール 	<ul style="list-style-type: none"> • 画面サイズや、モバイル ブラウザによるモバイル サイト表示の不一致などの複雑さを低減
	<ul style="list-style-type: none"> • 高度なレイアウト、スタイル、機能をサポートする新しいモジュール 	<ul style="list-style-type: none"> • すぐに使えるモジュールにより、優れたモバイル エクスペリエンスの構築に注力可能
	<ul style="list-style-type: none"> • お気に入り: 定期的に使用する設定済みモジュールのグループを作成 	<ul style="list-style-type: none"> • 分析、コマース、CRM など、さまざまなパートナー ソリューションと簡単に統合
	<ul style="list-style-type: none"> • プラットフォームに組み込まれている直感的なドラッグ アンド ドロップ インターフェイス 	<ul style="list-style-type: none"> • モバイル エクスペリエンスの設計を加速

ビジネス要件	サポート機能	利点
App Builder、IDE、SDK の利用による、迅速かつ簡単なモバイルアプリケーション開発	● エミュレータの統合 : 統合開発環境 (IDE) 内でテストを実施 (Apple、Android、BlackBerry、Windows)	● 複数のプラットフォームで性能を同時にテスト
	● デバイス機能の使用 : カメラや位置情報など	● アプリケーションに豊富な機能を追加
	● 更新をリアルタイムにプッシュ : ダウンロードの手間をかけずにモバイル アプリケーションを更新	● 運用時間と運用コストの節減
	● 数百の作成済みモバイル エクスペリエンス : UI、コンテンツ、ソーシャル、コマースのモバイル エクスペリエンスから選択可能	● より迅速な導入
	● あらかじめ作成された特定業種向けアプリケーション : これらを使用して開発することもゼロから開発することも可能	● カスタム環境の導入を加速
	● iOS と Android のソフトウェア開発キット (SDK) : Enterprise Mobility Services Platform のダイナミックな機能をネイティブ アプリケーションに組み込み	● ネイティブ アプリケーションのエクスペリエンスを必要に応じて維持
	● 簡単な統合 : 既存のネイティブ アプリケーションとの統合によってゼロからの作成を回避	● ネイティブ アプリケーションのエクスペリエンスを必要に応じて維持
	● 完全なクラウド ホスト型ソリューション : 接続ユーザの数に関係なくあらゆるニーズに対応できる拡張性	● ニーズに応じて追加のインフラストラクチャを調達する必要がない
企業の既存の IT およびネットワーク インフラストラクチャとモバイルの統合	● アダプタ : Cisco Connected Mobile Experience (CMX)、Cisco Wireless LAN コントローラ、および Cisco Meraki クラウド コントローラとのインターフェイスを提供	● 既存のモビリティ投資を最大限に活用 ● 顧客行動に関する有意義な分析を生成
	● ワークフロー統合 : ネットワーク、システム、モバイル アプリケーションにまたがる統合	● Enterprise Mobility Services Platform と既存のツールやシステムとの統合を簡素化してモビリティ投資を保護
	● ビジネス ルール エンジン : ネットワークからのコンテキスト認識型情報に基づくルールの作成および処理	● シンプルなユーザ エクスペリエンスを作成して生産性を向上
	● エンタープライズ クラスの ESB : スタジオ ツールとともにバックエンド接続の迅速な開発を実現	● 企業のデータ資産を公開してコンテキスト認識型のエクスペリエンスを提供
	● あらかじめ作成されたコネクタ : 一般的なアプリケーションのほとんどに対応	● コストと IT リソースを削減 ● プロセスを改善
	● データ統合 : 異なるデータ ソースに対応した接続プールでデータを統合	● Internet of Everything (IoE) に接続して、より正確に情報を把握し、プロセスを円滑化してパートナー/顧客関係を強化
	● ドラッグ アンド ドロップのセルフオーサリング インターフェイス : モバイル エクスペリエンスを簡単に実現	● モバイル アプリケーションを数時間で作成および配布

プラットフォーム サポートと互換性

一般的なアプリケーションのほとんどに対応した作成済みのコネクタを使用して、既存のネイティブ アプリケーションと簡単に統合したり、エンタープライズ サービス バス (ESB) と、Enterprise Mobility Services Platform のスタジオ ツールを使用して、カスタム用途のバックエンド接続をすばやく開発したりできます。オープン スタンドアードもサポートされています。

Cisco Enterprise Mobility Services Platform Studio には、迅速なモバイル エクスペリエンス開発を実現する作成済みのモジュールが 76 個以上含まれています。モジュールには、以下のカテゴリがあります。

- パーソナライゼーションとターゲティング
- マーケティング ディストリビューション
- クリック アクション
- モバイル ユーザ インターフェイス
- 調査とフィードバック
- ユーティリティとミニ アプリケーション
- 分析とメトリック

- ビデオ
- ソーシャル
- 広告
- 画像
- 位置情報
- 予定表とスケジュール

各モジュールは、使いやすさと互換性を確保するためにテストとハードニングが行われています。目的のモジュールをキャンバスにドラッグするだけで、リアルタイムでコンテンツが表示されます。

Cisco Enterprise Mobility Services Platform は、[表 1 に示したアダプタ](#)のサポートに加えて、以下のミドルウェア統合テクノロジーとエンタープライズ アダプタをサポートしています。これには、Cisco Integration Platform が使用されています(詳細については、<http://www.cisco.com/go/cip> [英語] を参照してください)。

テクノロジー

- HTTP(S)、Simple Object Access Protocol(SOAP)、Representational State Transfer(REST)
- リレーショナル データベース管理システム(RDBMS)
- Java Message Service(JMS)
- Lightweight Directory Access Protocol(LDAP)
- Java API

エンタープライズ

- SAP
- Workday
- Oracle
- Microsoft Customer Relationship Management(CRM)
- Netsuite
- Salesforce.com
- Amazon
- 100 種類以上のコネクタ

システム要件は、構成および必要な規模によって異なります。

ライセンス

Enterprise Mobility Services Platform は、年単位のホステッド ソフトウェア サブスクリプションとして購入されます。サブスクリプション期間は、1 年、2 年、3 年、5 年から選択できます。Enterprise Mobility Services Platform Base と Enterprise Mobility Services Platform Advanced の 2 種類のパッケージとして提供されます。

表 2. 2 つのライセンス オプションの説明と比較

機能	Base ライセンス	Advanced ライセンス
EMSP Wi-Fi Engage	あり	あり
EMSP Studio	あり	あり
Studio の設定済みモジュール	あり	あり
EMSP App Builder		あり

機能	Base ライセンス	Advanced ライセンス
EMSP SDK		あり
EMSP Location API		あり
EMSP Feed Editor	あり	あり
CIP Integration Services	オプション	オプション

保証に関する情報

保証については、[Cisco.com の製品保証](#)のページ [英語] を参照してください。

シスコのサービス

シスコおよびシスコのパートナーは、エンドツーエンドのサービスおよびサポートのラインナップを提供することで、TCO（総所有コスト）を削減し、ビジネスの俊敏性を改善しつつ、革新的なモバイル エクスペリエンスを顧客や従業員に提供できるよう支援します。Cisco Mobility Experience Services は、お客様のエンタープライズ モビリティ戦略とビジネス イニシアチブ全体を後押しするモバイル アプリケーション戦略の作成と実施に役立ちます。あらかじめ作成されたカスタマイズ可能なモバイル アプリケーション ソリューションが用意されているほか、新しいモバイル アプリケーションを開発することも、既存のものを変更することもできます。それらは、エンタープライズ システムとバックエンド システムに統合されます。ビジネス インパクトを追跡するためのメトリックの定義や、導入を開始してビジネス、IT、運用の成果を達成するためのアーキテクチャ ロードマップの作成も支援します。

Cisco Capital

目標の達成を支援するファイナンス

Cisco Capital は、お客様が目標の達成と競争力の維持に必要なテクノロジーを導入できるよう支援します。CapEx の削減をサポートし、成長を加速させ、投資金額と ROI を最適化します。シスコ キャピタル ファイナンス プログラムにより、ハードウェア、ソフトウェア、サービス、および補完的なサードパーティ製機器を柔軟に購入することができます。支払いが統一されるため、予想外の支払いが発生することはありません。シスコ キャピタルは 100 カ国以上でサービスを利用できます。[詳細はこちら](#)

関連情報

Cisco Enterprise Mobility Services Platform の詳細については、emsp-sales-ops@cisco.com にお問い合わせいただくか、[Cisco Enterprise Mobility Services Platform](#) をご覧ください。

©2016 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は2015年2月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



お問い合わせ先

シスコシステムズ合同会社

〒107 - 6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>